

穂いもち省力防除のための気象予報を利用した 防除意志決定支援のための判断基準の作成

福島県農業試験場病理昆虫部
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－病虫害防除
分類コード 01－01－23000000

2 担当者

根本文宏

3 要旨

穂いもち防除の省力化のため、止葉での葉いもち発生状況と出穂期前後の気象予測からの穂いもち防除要否の判断のアルゴリズムを作成した。農家の穂いもち防除の要否判断や防除が必要と判断された場合にいつ薬剤散布を行うかの意志決定の支援に利用できる。

- (1) 穂いもちに対する薬剤散布回数の削減を目指す農家を対象として、気象情報の降水確率予報等を利用した穂いもち散布回数削減のための意志決定の判断基準を作成した。この判断基準は穂いもちに対する薬剤散布回数の効率的な削減を目的としている。
- (2) この基準では、止葉、次葉での葉いもち発生状況を確認した後、穂ばらみ期から穂ぞろい期の間に「雨が降る可能性が高い」あるいは「雨が降る可能性が低い」ことを気象予報等から判断することで穂いもち防除要否や防除時期を決定し、必要な場合は1回の散布のみを行うこととした。
- (3) 2002年、2003年の2カ年の試験の結果、判断基準に従って所定の時期に1回のみの薬剤散布を行った場合でも、慣行の2回防除とほぼ同等の防除効果が認められ、収量もほぼ同等であった。
- (4) 以上のことから、作成した防除要否の判断基準を用いることで、穂いもちに対する防除回数の削減を目指す場合の防除要否および防除時期の意志決定を支援できる。

4 その他の資料等

なし